

ケッティーのFX教室

～トレードで最初に知っておくべき講座②～

これであなたも順張り上手

絶妙にトレンドの波に乗ろう!

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。
本冊子の著作権は、発行者にあります。
本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

勝ち組トレーダーと言われる側はマーケットの動きから何を読み取っているか

勝っているトレーダーはもちろん・・・

自分の勝ちパターンを持っている。

むやみやたらにトレードはしない。

ここぞというところまで待てる。

自分に合ったインディケーターや指針をチャートに反映させ、どこでその指針を使うことが優位性を発揮するか知っている。

損切りも躊躇しない。損切りで心的ダメージも受けない。

スランプに陥った時の脱出方法を知っている。

自分のことをよく知っている。

という事は・・・

勝ち組トレーダーと言われる側はマーケットの動きから何を読み取っているか

常に今、ここからどのような動きが想定できるかを考えている。

自分のシナリオを反対の動きの事も想定している。

重要指標や要人発言後のマーケットの動きを見て、次の動きはどうなるか想定している。

休むも相場。アクセルを踏むべき時、ブレーキを踏むべき時をチャートの動きから読み取っている。

今月だけ1000pips取るのではなく、毎月100pips取れるトレードスタイルを構築するために、日々のマーケットの動きを分析し、より良いエントリーとイグジットを執行していく。

- ①トレードをする前には必ず経済指標カレンダーでこれからどんな指標があるかをチェックする。
- ②重要指標でどのような動きをするかは、日々のチェックから養われる。
- ③指標前のエントリーは控え、また、利の乗っているポジションは手仕舞いするかも一定のルールを作っておく。
- ④重要指標で大きく動いたチャートを見ると、ここで入っていれば、こんなに取れたのに・・・と思うこともあるでしょう。
しかしながら、実際にそのタイミングで気配値を見れば分かりますが、大きくスプレッドが開き、チャート通りの値でエントリーすることはほぼ不可能。約定しないどころか、予想外の値で約定してしまい、とんでもない事になるので、くれぐれも重要指標発表直前直後にエントリーすることは避けましょう。

トレンド相場



ダウン（下降）トレンド

MA

角度がしっかりあり（右肩下がり、）

ローソク足がMAよりも下を推移

BB

バンドが開いていて、ミドルラインも右肩下がり。

ミドルラインより下でローソク足は推移

雲

ローソク足は雲より下を推移



アップ（上昇）トレンド

MA

角度がしっかりあり（右肩上がり、）

ローソク足がMAよりも上を推移

BB

バンドが開いていて、ミドルラインも右肩上がり。

ミドルラインより上でローソク足は推移

雲

ローソク足は雲より上を推移

トレンドが発生する場面と言うのは、それまで買いと売りが拮抗していたエネルギーが一気に一方向に動き、その流れが継続している状況をトレンド相場と言います。

すなわち、トレンドが発生し、そしてその流れに逆らわずにトレードをすることを『順張り(トレンドフォロー)』と言います。

トレンドもいつかは終わりますので、発生した後はどこで終わるかも意識するようにしましょう。

レンジ相場



レンジ相場

MA：一方向に傾きがある訳ではなく、小刻みに波を描くか、横ばいに推移している。

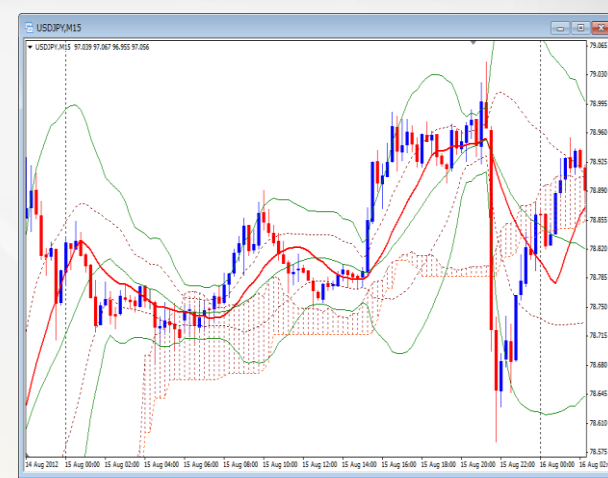
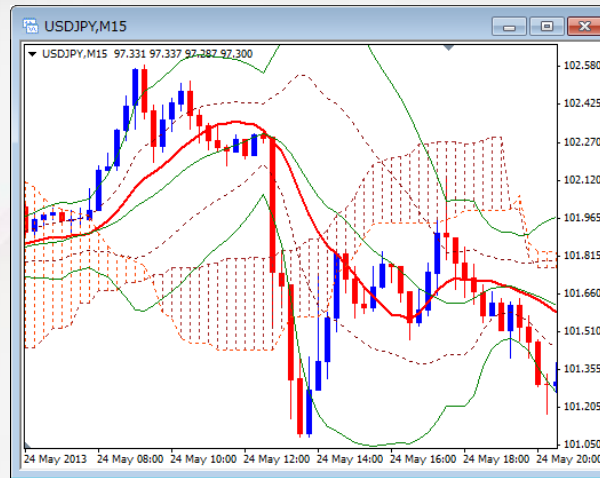
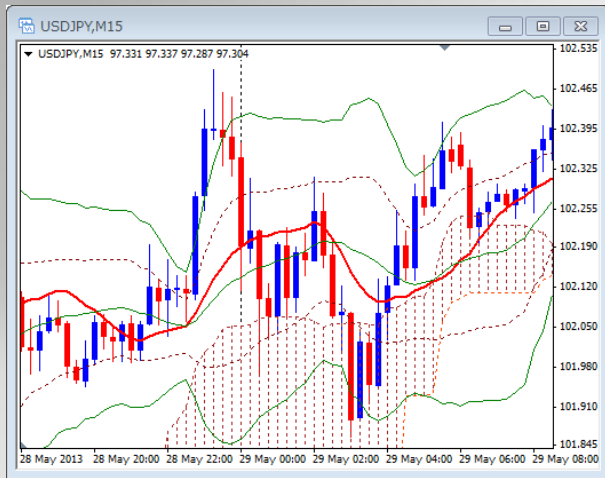
BB：大きくエクспанションすることはない、スクイーズ場面がある。

ミドルラインはMAと同様。

雲：雲の中に潜ったり、絡んだりしていて、抵抗帯としての機能は薄れている。

レンジが発生する場面は買いと売りが拮抗していてエネルギーを貯めている状態で、レンジ上限と下限に水平線を引くことができ、そのライン内で行ったり来たりしている状況をレンジ相場と言います。レンジ相場は次にどちらの方向へ動くか準備をしている期間なので、レンジが長ければ長いほどエネルギーを貯めていると言えます。ある程度値幅が大きなレンジ相場から、値幅が小さいレンジ相場に分けることができます。

どちらとも判断がつかなく、相場状況が把握しづらい相場



相場状況が把握しづらい相場

- MA：急上昇、急降下したと思っただけで横ばいになったりし、方向感が定まらない。
- BB：スクイーズやエクспанションをしていたり、かろうじて $\pm 2\sigma$ 間を推移しているが、方向性が読めない。
- 雲：下割れ、上抜けしてもすぐに逆方向に突き抜けたり、抵抗帯としての雲の機能をはたしていない。

トレンド相場のように一方向に値が動いているわけでもなく、高値安値の一定の水平線内で値が動いているわけでもない状況は、いわば、トレンドかレンジか定義づけができない状況を言います。

言い換えると、各テクニカル指標がトレンド時やレンジ時のように判断できる形状ではなく、そして水平線も機能していない状況と言えます。

こういった場面では、時間軸を変えて(大半は長い時間軸)、判断ができることもありますが、どちらか判断の付かない場合は、トレードを見送ることが大切です。

順張り（トレンドフォロー）のエントリーポイント

①押し目、戻り目のタイミングでエントリーをする。

±1σ、MA、BBミドルライン反発でのエントリー
加えてサポレジも追加の根拠になれば尚良し。

②高値越え、安値割れのタイミングでエントリーをする。

直近の高値超え、安値割れをしたところでエントリー。加えてサポレジも追加の根拠になれば尚良し。

①でエントリー出来なかった時の2次的手法

①押し目、戻り目エントリーのメリットとデメリット

【メリット】

- ・逆行が少なく、損切値が浅くて済む。
- ・トレンド継続ならば、精神的に楽で安全なエントリー手法。

【デメリット】

- ・エントリータイミングを掴むには、ある程度の訓練が必要。
- ・利確目標値の設定を誤ると、薄利で決済してしまう。

②高値越え、安値割れエントリーのメリットとデメリット

【メリット】

- ・勢いのある相場では積極的に使える手法。

【デメリット】

- ・逆行に合う確率は押し目、戻り目よりも多く、損切値も深い。

押し目、戻り目のエントリータイミング2種

小さなトレンドラインでタイミングを取る



小さなトレンドラインを引いて、そのラインを上抜け、下割れした時にエントリー。足が確定前に入ることもある。

【メリット】

- ・逆行が少ない
- ・タイミングは測りやすい

【デメリット】

- ・損切りが深くなる

タッチ&ゴーでタイミングを取る



±1σ、MA、ミドルラインに当たった所もしくは陰線陽線が逆転したところでエントリー。

【メリット】

- ・損切り値が浅い

【デメリット】

- ・逆行の確率が高くなる

高値越え、安値割れのエントリータイミング



高値ライン越え、安値ライン割れのタイミングで入るので、足が確定する前にエントリーすることもある。ただし、足確定前は逆行することもあるので、注意すること。
また、損切り値をタイトにしすぎると、損切りの嵐に合う事もあるので、少し耐える必要もある。